

「共働き子育てしやすい街ランキング」全国3位!

※出典1

子育てしやすい街へ

- 1歳未満の子育て世帯向け家事代行サービスの実施
- 市独自に所得制限なしの第2子保育料の無償化
- 市役所内にキッズスペースを設置
- 地区市民館を活用した子育て世帯の「あそび場・まなび場」づくり
- 乳幼児を対象とした保育園・幼稚園に病児保育室を新設
- オムツのサブスクリプションの実施
- 保育所等への市独自人件費補助の実施
- 高校生世代の子どもを育てる世帯のために通院医療費を無償化
- 公営児童クラブを開設 ● 民営児童クラブ利用料助成を実施
- タブレットを活用した多様な学びの支援体制を強化
- のびるndeスクールの実施校を令和4年度2学期より全小学校に拡大
- 市立小中学校はじめ76校の体育館・武道館等への空調設備整備に着手
- 安心できる居場所「エールーム」を中学校内に新設
- 教員をサポートする教員業務支援員・校務支援員を配置
- 本市独自で私立高校授業料助成を上乗せ
- 小中学校給食費を一般財源により半額に

誰もが生涯活躍できる環境へ

- とよはし産業人材育成センターを開設し、労働安全衛生法に基づく各種講習を受講できるよう環境を整備
- 学び直しを支援するための産学官連携プラットフォームの形成
- 女性の再就職やキャリアアップ支援として、国家資格・公的資格取得への助成、困難や不安を抱える女性を支援するための電話相談、面接相談、SNS相談などを実施

地域の産業基盤を強化

- 中小企業の経営基盤強化のため、設備投資や資金調達などへの支援を実施
- 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受ける中小企業に対して、感染症対策備品の購入、業態転換、ECサイトの開設などを支援
- 農漁業の振興については、経営が安定しない就農初期の設備投資について支援
- 中小企業の人材不足解消のため、多様な人材の活用につながるセミナーの開催や環境整備への助成
- チャレンジする中小事業者を支援 ● 若年者就職支援事業の実施 ● 奨学金返還支援補助金
- イノベーション創出等支援事業補助金 ● 研究シーズスタートアップ支援事業補助金
- 東三河スタートアップ推進協議会とのスタートアップ・エコシステムの創出
- 「とよはし創業プラットフォーム」(市・商工会議所、地元金融機関、サイエンスクリエイト)による創業支援
- 豊橋産農産物を活用した新商品の開発等へ助成

暮らしと産業を支えるインフラ整備を推進

- 豊橋新城スマートIC(仮称)周辺土地利用構想の策定
- 幹線市道の整備促進(一色町・王ヶ崎町1号線ほか)
- 三河港振興会によるボートセールス活動を実施 ● 柳生川大規模特定河川事業(地下河川)の促進
- 交通系ICカード導入支援 ● 市境をまたいだバスの運行(柿の里バスの豊川市へのルート変更)
- 公共交通のキャッシュレス決済(クレジットカード・電子マネー)の導入
- 地震に強い水道管の整備や古くなった下水道管の改良を推進
- 静岡県湖西市と水道料金収納業務等包括業務委託の共同化を行い、委託費用を縮減

未来を守る環境づくりを推進

- 災害発生時に指定避難所で情報伝達などができるよう全小中学校体育館などにWi-Fi環境を整備
- 災害時の各種連携協定の締結(災害時給電、ガス優先供給など)
- 災害等に備えた危機管理部門の強化のため防災危機管理担当に自衛隊OBを配置
- 救急救命士及び救急隊員の育成や高規格救急車の増車、本部日勤救急隊の発足など体制を強化
- 119番通報時に映像通報を可能とする映像通報(live119)の導入
- 新型コロナウイルス感染症に対する不安を取り除くとともに医療崩壊を防ぐため、自宅療養者等に対する医療体制や支援体制を整備

※出典1:日経xwomanと日本経済新聞社による「自治体の子育て支援制度に関する調査」

浅井よしたか

※出典2

「住みよい街ランキング」中部2位、全国19位!

安心して医療・福祉・介護が受けられる環境へ

- 総合福祉センター内に「福祉相談サポートセンター」を新設
- 在宅医療に関する相談窓口である在宅医療サポートセンターを運営
- 25歳、35歳の歯周病検診を実施
- かかりつけ医等と患者情報を共有する全国医療情報プラットフォームに対応した病院総合情報システムを構築
- 豊橋市民病院感染症専用病棟の開設
- スーパーICUの設置と病床再編
- 認知症本人や家族の支援ニーズと支援をつなぐ「チームオレンジ」の整備
- ヤングケアラーの支援を強化

持続可能な社会の実現へ

- 住宅への創エネ、蓄エネ及び省エネ設備の導入に対し設置費用の一部を助成
- 公共施設における民設・民営の太陽光パネル設置(PPA事業)を実施し、市民館等避難所への電力供給を開始したほか、新たに公共施設の駐車場等を活用した大規模施設での事業を実施
- 公共施設(地区体育館等のスポーツ施設)のLED化
- 高校生・大学生SDGsアクションの実施
- ごみ処理の広域化に向けて、豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業の契約を締結し、建設工事に着手
- 豊橋市動物愛護センター(仮称)整備に着手

地域の未来を支える魅力づくりを推進

- 文化財に対する市民の関心を高めるため、「市指定史跡吉田城址保存活用計画」を策定
- 美術博物館リニューアルオープン(R6.3)
- 市民文化会館大規模改修工事に着手 ● 二川本陣資料館リニューアルオープン
- 中央図書館リニューアル基本計画の策定
- 小学校6年生向け歴史副読本「ふるさと豊橋」の編集

気軽にスポーツを楽しめる環境へ

- 豊橋ゆかりのアスリートによる情報発信
- 地域のスポーツ団体や民間事業者と連携したスポーツ体験イベント「とよはしスポーツ博」を新たに開催
- 多目的屋内施設整備を中心とした豊橋公園東側エリアの再整備促進

魅力と活力にあふれたまちへ

- 商業施設やオフィス、まちなか図書館などが入ったemCAMPUSと、賑わいを創出する新たな回遊拠点として「まちなか広場」を供用開始
- 再開発事業を行う駅前大通二丁目地区、豊橋駅西口駅前地区、豊橋花園商店街地区及び豊橋広小路一丁目北地区の事業者に対し助成等を実施
- ストリートデザイン事業の実施 ● のんぼいパーク来園者が初めて100万人を突破(約113万人)
- のんぼいパーク園内に無料Wi-Fiを整備
- 道の駅「とよはし」を起点とし、渥美半島・浜名湖・奥三河を広域周遊するサイクリイベントを実施
- ゲームやアニメなどのコンテンツを活用した新たな観光需要の創出

未来を見据えた行政運営へ

- 外国人市民も安心して行政サービスを受けられるよう、外国人市民相談を実施
- 外国人市民にわかりやすく、伝わりやすいウェブサイト「ほけとよ」を開設 ● 消防団の活動報酬及び装備の改善
- オンライン行政手続の拡充 ● スマート窓口推進体制の構築、令和7年度からの段階的導入に向けた検討
- 人事異動において、女性活躍の観点から積極的な登用実施
- 政策推進アドバイザー、デジタル化推進アドバイザー、定住・移住アドバイザー、情報発信アドバイザーなど外部人材の活用
- 市長と若手職員の意見交換を積極的に実施 ● 広報機能を強化するため「広報戦略室」を設置

※出典2:「シティブランド・ランキング—住みよい街2024—」日経BPより

一期4年でマニフェスト達成率78.8%
やこれだけのこと

